LIP in HIRAKATA

ＬＩＰ（りっぷ）は、枚方市民発の
福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの
情報を掲載する地域密着型情報紙です。

２０２４年９月号

写真③「赤しそ」

写真④「赤しそジュース」

なんちゃって農業女子　P6 に記事

- ２回目の小学校 国語 五行歌
- STEMz マンガ文庫 蔵書紹介
  陰日向に咲く、バックオフィス業務にスポットの当たった作品
- 枚方にゆかりの本
  故郷と母をしのんで書きました！
- ちょっとだけ枚方にゆかりの本
  五行歌集『きずな』
- 滝行の楽しみ⑤
- なんちゃって農業女子(37)
- 五行歌連作　ご近所にミサイル弾薬庫　２
- イベント紹介／会計報告／編集後記

「ＬＩＰ編集局」
https://love-dugong.net/lip/
連絡先
メールアドレス：lip@love-dugong.net
TEL ： 070-5653-6913 (18 時以降)

LIP とは……Local Information Paper の頭文字をとったものです。

2回目の小学校　国語　8月23日

「五行歌」作品集　於：サプリ村野

ゆれている？
ゆれている‼
まだゆれている
授業そっちのけの
昼さがり

つくまともこ

地震かな？
椅子からお尻に
ビリビリと・・・
まわりを見わたし
おさまった！　よかった！

淑子

暑い日々
エアコン
センプーキ
と
部屋の中

あーちゃん

傘寿過ぎ
友達と会って
お食事
おしゃべり
にぎやかに

せっちゃん

ＬＩＮＥ来る
手をのばせば
そこここに
飛び交う言葉
つかめるのかも

よしこ

ＷＢＣ勝利
共に喜ぶ相手なく
見知らぬ人と
ハイタッチする
スポーツジム

本多澄子

雑踏の中に
一人
通りすぎる人は
皆
若い

伊吹知子

紙もろた
書きたいけれど
出てこおへん
私の感性
どこいった

浪女式部

若木の桜
色あざやかに
古木(こぼく)の桜
色あせても
樹齢百年めざせ

服部多美子

土曜干しの
並べた梅を
眺めつつ
わが身の健康を
感謝する

美津子

酷暑の折
暑い
しんどい
この二言で
一日過ぎる

なっちゃん

チューリップフェアで　中川欽太
買ったアマリリス
枝分かれして今は9鉢
孫に1鉢
何輪咲くかな

みさちゃん

お父さん日本は連日猛暑です
そっちはきっと春の陽気でしょうね
お父さん猛暑にも負けず私は元気です
だからお父さん
お迎えは当分不要です

孫連れて　のぶ
楽しい思い出作りの
列車旅
下車駅忘れ
通過する

五行歌（ごぎょうか）とは……五行で書く短い詩。字数や季語などの制限はなく、自分のおもったこと、感じたことを、そのまま言葉にして書きます。枚方では、五行歌ひらかた歌会が、8月を除き月一度歌会を行っています。今回は8月23日「2回目の小学校」で五行歌にチャレンジしてくださった方々の作品をご紹介します。

（連絡先：akkie.toyotaka@gmail.com　　または 090-5893-5635・豊高）

STEMz マンガ文庫　蔵書紹介

陰日向に咲く、バックオフィス業務にスポットの当たった作品

一見すると異なるジャンルの作品である『図書館の大魔術師』と『生きのびるための事務』。しかし、両作品に共通しているのは、それぞれの職業のリアルな仕事ぶりが丁寧に描かれているという点です。ファンタジー作品である『図書館の大魔術師』では司書の仕事が、『生きのびるための事務』では事務を通して、自分が求める未来を迎えに行く方法が描かれてます。

今回は、この2作品を通して見えてくる、司書と事務のリアルな仕事について紹介します！

図書館の大魔術師 著：泉 光 既刊8巻 蔵書8巻

『図書館の大魔術師』は、図書館を舞台にしたゴリゴリのファンタジー作品で、読んだことがある方は、どこがどうなって現実にある仕事とリンクするの？と思われる方もいるかもしれません。確かに、バトル要素あり、特殊能力ありで異世界マンガのジャンルに分類される本作品ですが、実は実は、司書の仕事ぶりがリアルに描かれています。

例えば、1巻では古い本の修復作業のシーンがあります。破れたページの補修、カビ取り、表紙の修復など、本を大切に扱う司書の姿が印象的です。また、2巻では利用者からの問い合わせに対応するレファレンス業務が登場します。司書が膨大な知識を駆使して利用者の疑問に答える様子は、まさに司書の真骨頂と言えるでしょう。

さらに、作品全体を通して、図書館という場所の意義が描かれています。図書館は、誰もが平等に知識へアクセスできる場所であり、人々の「知る権利」を守る砦でもあります。物語の登場人物たちは、その使命を胸に、本を悪用する人から本を守り、人々を守る責務はないものの、結果的に人々を守り治安を維持する役割を担っているのです。

平和な今はさほど感じるとこはないかもしれませんが、国を揺るがす争いが起きたとき、言論統制や自由な表現が規制されていた歴史があるわけで、司書ないし図書館が持つ役割というのは、気づいていないだけで大きいよな…。と思っています。

生きのびるための事務
著：坂口 恭平
イラスト：道草晴子
蔵書あり

一方、『生きのびるための事務』は、事務職の仕事を広い視点から捉えた作品です。こちらはマンガというよりは、ゴリゴリのビジネス書というか自己啓発本のジャンルに入る本です。でも、中身がマンガなので、マンガとして紹介します！

本書では、事務とは「夢を現実にするための技術」であると定義されています。つまり、事務職とは単なる定型作業ではなく、物事を着実に前に進めるための重要な役割なのです。

事務こそ土台であり、縁の下の力持ちだと信じている私は、新たな視点で描かれる事務に、「やっと認められた！」なんて思いました。小さな毎日の積み重ねのうえにしか、大きな成果はありえない…と思っています。

著者は、事務に必要なスキルとして、スケジュール管理とお金の管理を挙げています。これらは、どんな仕事においても必要不可欠なスキルです。自分の時間とお金を適切に管理することで、目標に向かって着実に進んでいくことができるのです。

事務というと、地味だし、流れ作業だから工夫もなにもへったくれもない…と就職してすぐの私は思っていました。お茶くみや電話の取り次ぎ、男性社員のサポート、そういうのが事務だと思っていました。でもそれはポジションの話なんだと、今なら分かります。事務の仕事ってめちゃくちゃ幅広い。その幅広い仕事を、どういう立場で、どんな役割を担うかということなんだと思います。だから、事務という言葉だけをみて、その仕事がどんな仕事なのかを判断するのはナンセンスだよな、と思うのです。

あなたの未来は、今の自分と繋がっていますか？繋がっていそうにないと思うのであれば、ぜひ事務にフォーカスを当てて、毎日の事務を淡々とこなしてみてはいかがでしょう？

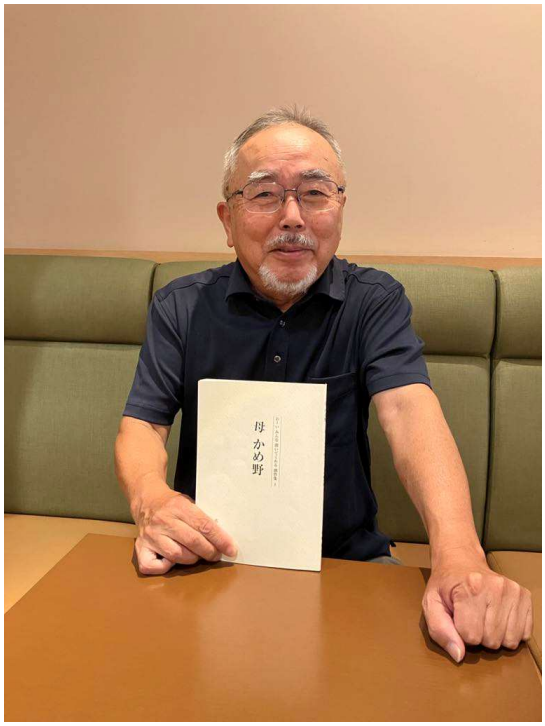
（みんなでつくる学童STEMs　そふえ）
［ STEMz マンガ文庫 ］で検索！

枚方にゆかりの本　　故郷と母をしのんで書きました！
『母 かめ野　＜おーい　みんな聞いてくれる　創作集１＞』

佐藤謙司さんは、枚方市町楠葉在住。京都府庁を定年退職後、地域のお役に立ちたいと「さとう福祉たくしー」を開業。高齢の方や障害のある方の外出の手助けなどの活動を行う一方、日々の生活や社会に対して感じることを書き続けています。これまでに２冊のエッセイ集を発行、この５月初めての創作集『母 かめ野』を発行しました。創作集『母 かめ野』は、Ａ５判・121 頁。佐藤さんの故郷や父祖をモデルにした『由良川』と『母 かめ野』の２作を収めています。

京都北部を流れ若狭湾に注ぐ一級河川の由良川は、普段は穏やかで田畑を潤す水源となる「母なる川」ですが、台風や大雨の時には「怒る川」に豹変します。川沿いの和江（わえ）という集落で生まれ育った佐藤さん、春夏秋冬表情をかえて地域の住民を養う川のすがたを描きたかったということで、「『由良川』の主人公は、川です」。2004 年の台風 23 号による「水没バス」事故を描く緊迫の第一章から、過去３代に遡って家族の歴史が描かれています。この物語は昨夏急に佐藤さんに降ってきて、酷暑のなか熱には弱いノートパソコンを抱え涼しいところを求めて家のなかを移動、３か月で書き上げたとのこと。

「『母 かめ野』は少しずつ書き足していきました。我が家の歴史ですが、８割は想像です」と佐藤さん。「お墓も移転し、生まれ故郷に自分をつなぐものは何もなくなったが、歳を重ねるほどに想いは募ります」。昭和の時代の農村の様子、川をわたる風の匂い、小学校の子どもたちと先生とのふれあい、夕暮に堤で待ち合わせ手もつながず語り合う男女。昭和に生まれたものにとっては昔どこかで触れた覚えのある思い出の景



色、今では殆ど失われてしまったような自然と暮らしがいきいきと描かれています。

自費出版の本は好評で殆ど売れてしまったそうですが、数部は在庫があるそうです。ご興味を感じた方は、編集部までお問い合わせください。

（豊髙明枝）

書名　：『母 かめ野　＜おーい　みんな聞いてくれる　創作集１＞』
著者　：佐藤謙司
印刷　：(株)耕文社
発行日：2024 年５月
頒価　：1,000 円

ちょっとだけ枚方にゆかりの本　　五行歌集『きずな』

表紙は、２匹の鶴が雪を抱いた山をバックに飛ぶ、シックな装丁。若狭湾に面した風光明媚な地・舞鶴に、十一番目の末息子として生まれ、昭和、平成、令和の時代を生きてきた、８４年の人生が、５行のうたにまとめられ、ぎゅっと詰め込まれています。

母の乳房は
蚕の匂いと
稲穂の香り
十一番目の
末息子

自筆で書かれ、落款も押されている、いちばん最初のうた。「母」「乳房」「蚕の匂い」「稲穂の香り」、生の香りがむんむんと立ちのぼってくるようです。

兄も姉も多いから
進学は無理だと
思い込んでいた
一言も触れずに
両親は逝った

15 歳で就職
物づくりに徹して
手の指が湾曲
これも勲章
未だに造る

妻は大先輩
息子と娘も
私の先輩
通信制高校を
やっと卒業

家も自分で建て、少しずつ増築していった。30 代後半で通信制高校に入学、数年かけて卒業した。読んでいると、「やりたいと思ったこと、やれば何でもできる」という気分になってきます。

初孫よ
爺でござる
泣いた笑った
あくびした
参った　無条件降伏

家族についてのうた、ユーモアたっぷりのおつれあいさんについてのうた、社会や政治について、わが町の今、町内会や老人会の様子。愛車の軽トラで、野良を、街を、軽やかに走る作者の関心、活動は、多岐にわたります。

枚方と作者のご縁は、現役時代大阪に出張すると枚方市宮之阪の義兄宅にいつも泊めてもらい、よくしてもらったとのこと。宮之阪駅前のユニークでおいしいカレー喫茶・エルディオスの話を知って、そこでお昼を食べたいと、昨年７月にはひらかた歌会に参加してくださいました。午前中の歌会が終わったら、みんなでエルディオスさんへ。なんと、舞鶴から軽トラで来られたとのことで、「大丈夫ですか？」「通い慣れた道だから、大丈夫、大丈夫！」ノンアルコールのビールで乾杯しました。

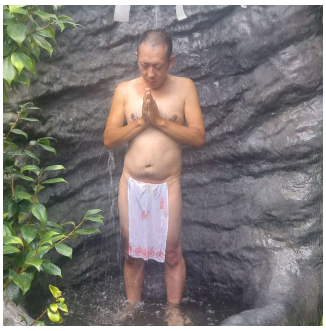
ちょっと
顔出すだけで
周囲が暖かくなる
こんな人になりたい
なあ　太陽さんよ

３２９頁のずっしり重い本ですが、１頁に５行のうたが一つか二つ。元気でやさしいお人柄のにじみ出ている作品が作者の生きざまを描き出し、「次はどうなるの？」笑ったりしんみりしたりで、あっという間に読み終えてしまいます。

（とよたかあきえ）

書名　　五行歌集『きずな』
著者　　小谷要岳（こたに・ようがく）
発行所　市井社
発行日　２０２３年１２月３１日
定価　　１５４０円（本体１４００円＋税 10%）

『滝行』の楽しみ　５　　7/30(火)京都市：専故院



滝も心地良く住職さんとの会話も楽しかった。
松瀬（ＬＩＰ編集局）

＝☆＝☆＝☆＝☆＝☆＝
京都市下京区中堂寺西寺町6
専故院
＝☆＝☆＝☆＝☆＝☆＝

No.37　なんちゃって農業女子(笑)

今回は、「里芋」と「さつま芋」と「あかしそ」のご報告です。私の写真①は、現在の「里芋」の写真です。青谷のファームで「玉ねぎ」の収穫後、利用者様と６月中旬に植え付けした「里芋」です。６月下旬は雨もまあまあ降って生育も順調でしたが、７月８月とほとんど雨が降らないため、結構枯れそうになっております。仕方ないので、８月には夕方１時間残業をつけさせていただき、水やり作業をしてから帰ってきました。現在の畑は、田んぼの跡地なので、里芋など水を好む野菜にはうってつけのはずが、さにあらず・・

そのくせ「雑草」は勢い良く育つので、利用者様の作業として、頑張って綺麗に草抜きをして頂く事もあります。草抜きして、土寄席して、手作りの肥料を苗の周辺にまいて、あとは雨が降るのを待ちます。

「さつま芋」も以前に報告しておりますが今のところ何とか順調です。実験的に安納芋６０株、紅はるか６０株（以前の報告では５０株でしたが、途中で１０株づつ増やしました）葉っぱは枯れることなくとてもきれいです。このまま秋を迎えてくれることを祈るのみ。やはりこれも枯れないように「水やり」は必須でしたが・・写真②

今年の夏もカフェで、ウエルカムドリンクとしてランチ用に「赤しそシロップ」を作ってくれています。その原料の「赤しそ」写真③（表紙）は、以前の畑（京田辺）で、こぼれた種から発芽した苗を青谷にもって来て利用者と一緒にうえつけしたものです。本当に旺盛に育ってます。唯一出荷している野菜です。

カフェで使っていただけるので、利用者も収穫作業を楽しんでくださっています。「ぷちぽんとカフェ」および「さぴゅいえ」２店舗にて「赤しそジュース」写真④(表紙)お飲みいただくことができますので、ランチタイムにご利用下さると幸いです。

今回の報告のように、何とか少し野菜作れて元気に働いております。次回また(笑)　　（へそくん）

写真①

写真②

五行歌連作

ご近所にミサイル弾薬庫　2

桑本明枝

軍備を怠れば忽ち
東シナ海に赤い戦艦が浮かぶと
つれあいは言うけれど
最新鋭の兵器を買えば
それをやっつける武器が買われ
軍拡競争果てなく続く

軍がなければ民を守れぬ
って　ほんとう?
先の戦争　沖縄で軍のいない島は
島民無条件降伏で皆無事
軍駐屯の島は攻撃され焼き払われた

軍の戦略拠点にするからと
マラリア媒介蚊の跋扈する
隣の島へ島民を疎開
三分の二が病で苦しみ死んだ
あのときなぜ頷いたかと悔やむ村長
軍の命令に誰が逆らえようか

お上のすることに間違いがあろうかと
従順な民よ
権力を持つものはやがて
その力に魂を奪われると
『指輪物語』で私は読んだ

巧妙に仕組まれた
相互監視の制度で
疑心暗鬼
互いに密告し合う村に
なってゆく

隠した米を
ご近所さんも一緒に食べようと
空襲の後土を掘ったら
袋のなかは　空っぽ
母さんは泣き崩れた

夜空を彩る
花火のように
次々散る閃光
ミサイル一発
十数億円

戦争で
兵器を売ったら
バカスカ儲かる　って
そんなんで殺されて
たまるか

一人ひとり
善良で良いひと
思いやりのある男女が
鬼　になってゆく
戦　というもの

戦艦が近海に浮かぶ前に外交で
浮かんだとしても
ただ観てただけです　と
帰ってくれるよう
そんな交渉をしてください

胸元に短刀隠し持ち
笑顔で両手を差し出し握手して
私たちを守ってください
為政者であるならば
金の力で相手を縛り上げてでも

もし　ただ善良であるというならば
最後の最期生命を奪われる間際まで
笑顔のままでいる覚悟
こいつを殺すわけにはいかないと
相手をうなだれさせるまで

「顔を上げ歩んでいく」
被災地の復興を伝える
新聞記事のタイトルを
「頭を上げ死んでいく」
と読み間違う　私は
戦争の足跡に怯えている

何も持っていないけど
と歌うひと
歌え　つながれ
わずかな希望が
そこに在る

ボディブローのように
ゆっくり効いてくる
戦雲の近づく気配
わが町のすぐ近くに
最新鋭のミサイル弾薬庫建設予定

（２０２４．５．５　１４首）

イベント・サークル・ボランティア情報

みんなといっしょに高校へ行きたい！
「知的障害者」を普通高校へ北河内連絡会定例会ご案内

酷暑が続く毎日、みなさんいかがお過ごしですか。

７月の“「障害」のある子どもの高校進学を考える学習会”は立ち見が出るほど多くの方たちが参加。代表を島田愛さんから山内寛さんへバトンタッチ。佐々木サミュエルズさんご一家のお話や府教委の高校受験の説明を熱心に聞き入り、交流しました。

８月には東大バリアフリー研から依頼があり、新みすずさん、山内華奈子さんにも登壇していただいて北河内連絡会を中心にした大阪の「ともに学び、ともに育つ教育。定員内不合格を出させない取り組み」の歴史と現在と課題をテーマに話しました。

全国ネットで、1,000 人近くの方たちが申し込んでくださったとのこと、もうびっくりです。お二人の話は視聴者の心をつかんだことと思います。

北河内連絡会、これからもいろんな活動をしていきたいと思います。みんなで楽しみましょう。

９月の定例会のをご案内を致します。ぜひお知り合いにも紹介して頂けたら有り難く思います。ご参加をお待ちしています。

○と　き：2024 年 9 月 28 日(土曜)午後 1 時 45 分～5 時
○ところ：ラポールひらかた 3 階　研修室 1
　　枚方市新町 2-1-35（TEL072-845-1602）駐車場無
　　京阪枚方市駅下車　北へ 500 メートル
○内　容：① 今年の高校受験をめぐって情報交流
　　② 子ども達と学校や生活上の課題
　　③ 「医療的ケア」の必要な子ども達を巡って
　　④ 高校卒業後の進路と生活、課題
　　⑤ 「文科省通知」「国連権利委員会勧告」をめぐって
　　⑥ その他、自由に交流します。
○参加費：１家族１００円
　ＺＯＯＭ参加もあります（無料）。希望される方は、
　松森まで（ matumori@crux. ocn.ne.jp）ご連絡をお願いします。
○連絡先：松森　090－1960－3469　関山　090-2599-6162
○主催：知的障害者を普通高校へ北河内連絡会

【枚方自閉症児（者）親の会】

自閉症だけでなく生きづらさを感じながら生きている人、その保護者や関係者の方々。どうぞフリートークでご参加ください。話すことにより、何か新しいことに気づけるかもしれません。
◆ 日時：9 月 30 日（月）10：00～12：00
◆ 場所：ラポールひらかた 4階共用ルーム
※連絡先　春名 072-397-0053　三浪 072-868-9929

「世相を切る～改憲軍国、経済衰退、生活破壊」

◆日時　９月15日（日）　１４：００～１６：００
◆場所　交野市ゆうゆうセンター３階研修室
　（JR 河内磐船駅から徒歩５分）
◆講師　山本健治さん（フリーライター）
◆参加費　５００円
◆連絡先　０７２－８９２－４９３８（松村）
◆主催　憲法とくらしを考える会

応援ありがとうございます♪
ＬＩＰ応援団
NPO 法人りりあん、田中直美さん

ＬＩＰ会計報告（前号以降）

金額(円)	内容
45,297	前号から繰り越し
10,000	応援団寄付
▼3,872	８月号印刷用紙代
▼500	ロッカー代
▼1,240	８月号印刷代
▼364	郵送代
49,321	計（次号へ繰り越し）

STOP WAR NOW
STOP WAR NOW

◆孫たちといっしょにプールに遊びに行って、プールサイドで滑ってこけて、鎖骨骨折しました　当分、「大リーグボール養成ギプス」（昭和な人にしか通じない？）みたいなギプス生活で不便ですが、抱っこしてた孫は軽傷で済んでよかったです。　（ｗ）

◆ＬＩＰは市民が書き、市民が読む地域密着型情報紙です。あなたも紙面に登場してみませんか？

Ｄサポーターズ総会 final
未来の教育と平和を考える　西谷文和さん講演会

■日時：2024 年 9 月 23 日　午後 2 時開始
■会場：枚方総合文化芸術センター別館(旧メセナひらかた)
　2 階多目的室
■主催：Ｄサポーターズ
■連絡先：福山昌也　090-5240-9261
■参加費用　無料
5 年ぶりのＤサポ総会を行います。私の弾劾異動、思想調査、Ｄ評価に対し共に憤り集まっていただいた会も丸 20 年。このたびＤサポーターズの締めくくりの総会を開くことになりました。
ぜひご参加ください。　代表：福山昌也

イラスト　　表紙：平井由恵